

仙川(祖師谷橋～丸池+α)歩き

仙川にやって来る冬鳥を見ながら仙川を世田谷の西のはずれから元々の水源である三鷹市丸池まで歩いてみようと思います。(ほぼ三鷹市を歩きます)

日時：2020年1月13日（成人の日）

集合：10時に千歳烏山西側改札を南側へ出たところ

概要：徒步にて下記行程を歩き、到着地点よりバスにて仙川へ出て、昼食兼懇親会（終了15時頃）

(1) 仙川について

*多摩川の二次支川

*小金井市貫井北町に源を発し、武蔵野市、三鷹市、調布市を経て、世田谷区鎌田3丁目で野川と合流する流路延長20.9キロメートルの一級河川。

*野川宿橋から下流は両側コンクリートの垂直護岸で覆われている。

野川宿橋より上流は、三面コンクリートとなり、暗渠の部分も多く、水はほとんど流れていません。

*仙川は元々三鷹市の丸池を水源とした川であったが、生活排水の必要性から、丸池より上流を作った珍しい川です。

*水源としては、①境浄水場の余水、②三鷹市丸池公園付近の湧水、③三鷹市東部再生処理水が主なもの。①はほとんど見られない。②は元もと仙川の水源であり、今でも水量が多い。（樋口取水口より野川宿橋までポンプアップして水循環により、丸池公園から上流野川宿橋までの景観を作っている）

③は三鷹東部水再生センターから放水され、世田谷区を流れる仙川の水はほとんどこの処理水。

*仙川は水辺で楽しめる箇所が無いが、桜堤公園（武蔵野市）、あけぼのふれあい広場（三鷹市）、祖師谷公園（世田谷区）では、緩傾斜護岸をつくり、川辺の雰囲気を出している。

*谷沢川、谷戸川などに水を送っている。

*名称の由来

元々の水源の丸池にはたくさんの中が湧いていたことから、千釜と呼ばれていた。この千釜と言う言葉が仙川の由来と言われている。

また、流域に仙人が住んでいた伝説からという説もあるとか。

(2) 行程

京王線千歳烏山西口南側—祖師谷橋—大川橋—三鷹市東部水再生センター
送水口—樋口取水口—丸池—野川宿橋—新川通バス停—仙川駅バス停
(野川宿橋：12時頃、仙川駅：13時頃)

(3) 見どころ

*川にいる冬鳥、カワセミ、留鳥

*水車小屋跡付近のどんぐり道

*三鷹市東部水再生センター（センターの施設見学はできませんが）

*樋口取水口跡

*丸池公園、勝渕神社

*野川宿橋下の水循環によるポンプアップ水源